



親の心配をよそに

早くも一年生気分

町では、明春入学する子供たち 330 人（男 180 人、女 150 人）の健康診断を10月28日から11月30日まで、7つの小学校で行いました。

母親に付き添われた子供たちは、内科や歯科、眼科、視力、聴力、知能などの検査のほか、裸になって身長、体重を測定し早くも入学の準備。子供たちは、親の心配をよそに、一年生気分を出して、質問に大きな声でハッキリと答えていました。（写真は鷹巣小学校の歯科検診）

人口と世帯数

（住民基本台帳による）

11月30日現在	（前月比）	
総人口	25,258人	（17人減）
（出生	15人	転入 43人）
（死亡	12人	転出 63人）
男	12,313人	（10人減）
女	12,945人	（7人減）
世帯数	7,299世帯	（増減なし）

十二月定例町議会



出川町長行政報告

米は二〇九、七六四俵を出荷

ことしの稲作は、全国的には作況指数「九七」と四年連続の不作となりましたが、秋田県は「一〇一」の平年作となり、当町の十二月一日現在の総出荷数量は二〇九、七六四俵（政府買入限度数量一九三、二五一俵、超過米一六、五一三俵）で前年度に比べ一、一三七の増。

水田利用再編対策第二期の最終年にあたる転作については、第一次確認で一部改善を指導していた農家の第二次確認がおり、最終実績は目標四四六ヘクタールに対し四七三・四ヘクタールとなり、その達成率は一〇六・一％となりました。

沢口は八三・八％の圃場整備率

また、転作促進特別対策事業（面積七・二ヘクタール、総事業費四、〇八三万一千円）として湯車圃場整備をすすめ

五十九年十二月定例町議会は、十二月五日

から十四日まで十日間の会期で開かれました。

初日の五日は行政報告、提出議案に対する大

綱質疑が行われたあと各常任委員会に付託。

七、八の両日は一般質問。九日から各常任委

員会が開かれ、十四日に本会議を開いて閉会

いたしました。今回の定例議会で、出川町長

が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。

（決定した議案は次回広報で報告します）

ておりましたが十一月十日に完了しました。これにより沢口地区の圃場整備率は八三・八％となり、今後の転作の質的向上と定着化が期待されております。

なお、転作については郷土で栽培された農産物の、隠れた良さを知ってもらいながら定着した消費者の拡大を図るため、農協と連絡を密にして本年度は「長いも」「ごぼう」を重点に、町産品愛用運動を推進。

十二月末日で一斉に免許更新となる内水面漁業権について、第五種共同漁業権をもつ小猿部漁協関係者と振興策の協議を重ねた結果、組織を再編し新組合員八二人の加入を得て、名称も鷹巣町漁協と改め、十月二十六日免許更新の申請をしました。また、第二種区画漁業権については、五カ所の更新申請をしております。

仙戸石沢国有林に

部分林九・六九ヘクタール

就労の確保と森林が果たす公益性とあわせ町の基本財産造成を図るため、五月に秋田営林局と締結した仙戸石沢国有林内の部分林九・六九ヘクタールの植栽が十月三一

日完了しました。今後もこれを契機として同地内に百ヘクタールを目標に運動をすすめていきます。

峰越連絡林道奥見内線（五四年起工、延長六、六六七、総事業費三億九、九三四万四千円）が完工し、九月三〇日に竣工式を行いました。

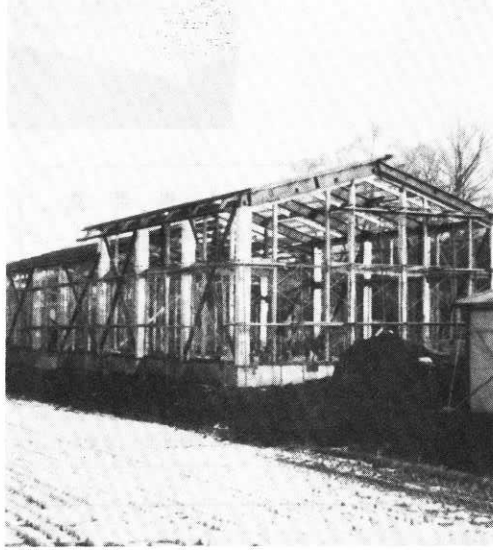
幅員の狭隘と悪路のため改良要望の強かった坊沢地区福田農道が、秋の取り入れ前に完工し農作業上と、新屋敷会館利用者の利便がよくなりました。

五四年度から、事業をすすめておりました団体営農道石の巻地区農道（延長一、一九六、総事業費七、一三〇万円）が十一月十六日に完工しました。

鷹巣児童館を新築工事中

十月二日発注した鷹巣児童館（延面積二七五・九八平方メートル、工事費二、八六九万円）の新築工事も来春の完成をめざしております。

消防施設整備については、消防器具置場新築二カ所（葛黒、田子ヶ沢）が工事費一五八万円、このほど完成し、防火貯水槽新設三基（綴子上町、前野町、小ケ田）も工事費六五三万円十二月二〇日まで完成の見込みです。また、現在工事中の協神地区の望楼も



十二月一〇日までの工期で順調にすすんでおります。
十一月五日から行われた秋の火災予防運動の初日に
消防団員約三百人を動員し、器械の点検及び綴子川畔
で注水訓練を実施するとともに全町各家庭の査察指導
等にあたりました。

健康大学に延べ 六一九人が参加

地域に「健康づくりの組
織をつくろう」をテーマに、
健康の自己管理の向上を図
るため、健康大学講座を開

設し、本年度で十一回目を迎え、延べ四、五〇〇人の
参加となりましたが、ことしは沢口林業センターを会
場に、六月一〇日から十一月十五日まで六回開設し、
延べ六一九人の実績をあげております。

秋季クリーンふるさとデーを九月十八日早朝全町で
実施。七二自治会、五一団体、四、一一五人が参加し、
道路、河川、広場等の清掃作業を実施しました。また、
秋の一斉清掃指導にあたっては、モデル的に点数制で
一町内を実施しましたが、今後拡大を図って行きたい
と思っています。

国保事業では、健康保持と医療費の節減をはかるた
め、各種検診をすすめ、自己負担分の助成措置を講じ
十一月末現在、貧血検査三八九人、婦人科検診四九〇
人、胃がん検診一、三四三人、計二、二二二人で前年



十一月末現在、貧血検査三八九人、婦人科検診四九〇
人、胃がん検診一、三四三人、計二、二二二人で前年
度より一九九人増えており、この後の健康検査、人間
ドック等に対しても助成の予定であります。

町道・坊沢大向線を舗装

五七年度から施行している橋梁整備事業・七日市松
沢線の黒森橋（延長四二・八メートル、幅員七メートル）は、十月
二五日から供用を開始し、同じく補助事業特殊改良四
種・坊沢大向線（延長一、〇五〇メートル、幅員五メートル）及び
町単独工事として実施した坊沢大橋までの間七七二メートル
が十一月十八日に完了しました。

側溝改良工事は、二六件、五、八六六メートルのうち、旧
町内は十九件三、七八五メートルを発注し、それぞれ一部を
除いて完了しました。

直営施行による舗装は、東小学校線外八路線一、八
八九メートルを、また公共広場として栄生活改善センター外
三カ所、三七五平方メートルを十月末日までに完了しました。
五月二六日の地震の被害を受けた中央公園園路復旧
工事は現在進行中です。

除雪については、例年同様幹線道路、生活路線を主
体に一七三メートルの除雪計画をしております。

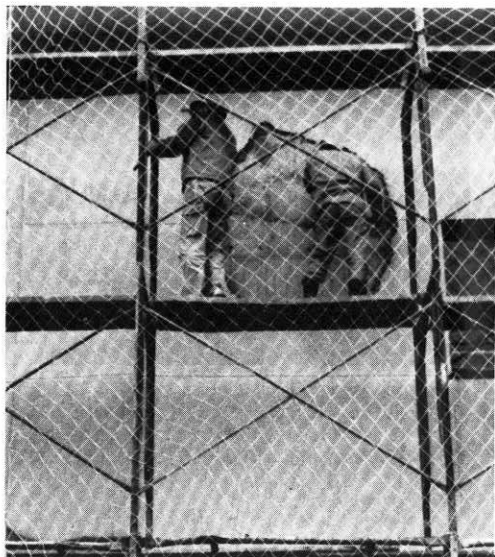
水道上期で純利益 八七八万円余り

上水道事業上期（四〜九
月）の業務量としては、全
給水区域の配水本支管の洗
浄作業を実施しました。

給水の状況では、給水計画件数二、七八〇件に対し
給水件数二、八二四件で四四件が増えています。

また、経理状況は、水道事業収益五、三一五万五八
五八円に対し、水道事業費四、四三七万四八八三円で、
上期純利益として八七八万〇九六五円が見込まれまし
た。簡易水道事業については、七座地区に水質保全設
備を施行し、安定給水を図っております。

山村振興事業で工事中の李岱地区小規模簡易水道事
業は五九年一月から給水を開始する予定です。



綴子小学校で 大規模な改修工事

綴子小大規模改修事業と
して、外壁補修、窓枠取替、
床張替、屋根張替等工事費
二、八六〇万円で完成しま
した。なお、補助金として八三万三千円が決定しま
した。

鷹巣中第二体育館は、総事業費八、三五〇万円を予
定し、二カ年継続事業として今回二、六三八万円を計
上しました。

鷹巣小屋外環境整備事業として、植栽、野外ステー
ジ、アスレチックコースなど、工事費一、二九〇万円で、
現在進行中、進捗率はおおむね四一％となっています。

坊山に待望の 運動広場完成

昨年度から造成中の坊山
運動広場は、本年度五百万
円の工事費で、バックネット
やフェンス、排水工事等
十一月三日に完成しました。

また、工事中の「サブ体育館」は四〇％の進捗率と
なっています。

十月九日開設の第三九回全県駅伝競走大会で、鷹巣
中は七人のうち四人が区間ラップをとり優勝しました。



第十九回を迎えた町民駅伝大会は、二〇チームが参加。同時に歩こう会やフリーマラソンも体育の日に行われました。

また、阿仁部との交流を深めながら、女子長距離の育成強化と北秋陸上の強化を図るため、第一回女子駅伝競走兼阿仁鷹巣間駅伝競走大会が十一月十三日開催され、一般で鷹巣陸協、女子は鷹巣中が優勝しました。第一五回文化祭は、中央公民館を演示会場に、分館（旧鷹巣小校舎）を展示会場として、新たに民族資料展、町勢展、消費生活展も加え十一月三日から六日まで四日間開催しました。

町史の編さん 委員会を発足

新町発足三〇周年記念事業として、かねて関係者と協議をすすめてきた鷹巣町史編さんについては、十一月一日付をもって、編さん委員十五人を委嘱しました。

地籍調査事業については、昭和五七、五八年度（二カ年継続）の実施地区、七日市宇越鳥沢外二五字一、〇四六（ハ）について、一筆地毎の測量図ができましたの

で、正確を期すため土地所有者に形状、地目等の確認をしてもらうための仮閲覧が十一月いっぱい終了しました。これから面積測定の委託をし、確定次第二〇日間の本閲覧を行い国土庁へ認証の申請をしました。

鷹角線の全線開通で 第三セクター移行を要請

阿仁合線を含む特定地方交通線第二次選定線にかかわる知事意見書の提出については、全国知事会の指導もあり、これまで約一年間提出を見合わせておりましたが、十月二十八日に今後は各県独自の判断で対処することに凍結解除となりました。

本県では、十一月十日知事招集の鷹角線沿線町村長会議が、また十四日には県議会交通対策特別委員会と、関係町村長との合同会議が開催され、十一月二一日付で要旨次のような知事意見書が、運輸大臣宛提出されましたが、これらの会議を通じ第三セクター移行の促進について、強く要請いたしました。

国鉄再建については、国鉄再建監理委員会で全般的な見直しをしている現在、特定地方交通線対策も今後の再建具体策を明確にしたうえで改めて取り組むべきで、その間は選定手続きを保留するのが妥当であると見直しを求めているが、それにもかかわらず廃止手続きをすすめるときは

▼今後の角館線の協議期間については、阿仁合線の協議期間を加えたものを一応の目安とすること。

▼鷹角線の全線開通まで、既存路線については国鉄で引き続き経営すること。

▼早期に全線開通を図るため、AB線予算枠の拡大に努め、予算の制約から開通が遅れないようにすること。

▼運営費補助については五年間の期限を撤廃することと、国鉄から引き継ぐことになる老朽化した路線の大規模改良は、国の責任で工事を実施すること。

▼第三セクター等へ転換するため、工事再開する場合は認可手続きを極力簡略化すること。

民謡のカツ子さん

“日本一に輝く”

十一月十七日から二〇日まで、東京都体育館で行われた全国民謡民舞大会（財団法人・日本民謡協会主催）で、松葉町六の五の九・河田カツ子さん（38）が「日本一」の内閣総理大臣賞に輝きました。

河田さんは、昨年十一月に仙台で開催された東北北海道民謡大会で優勝。こしに入ってから、フジテレビで放送された「輝け民謡大賞」に出場し、東日本の五人に選ばれながら、僅差で大賞を逸しました。

今回は、二度目の挑戦で栄冠を勝ち取ったもので、大会は青年や壮年、連合会代表など十四部門で各県代表が優勝を競い、各優勝者が内閣大臣賞争奪戦を行うもの。河田さんは、会場を埋めつくした大観衆の前で、得意の「本荘追分」を披露し、内閣大臣賞のほか、郵政大臣、民謡協会賞など六



タイトルを獲得して日本一となったもので、民謡の豊庫「秋田県からは五人目でした。ドツシリと重い優勝カップを前にして「これ以上の賞はないが、日本民謡大賞にもう一度挑戦してみたい」と抱負をのべていました。

本格的な冬を迎え

除雪対策は万全

いよいよ本格的な冬を迎えようとしています。町では冬将軍の到来に備え、冬期間の交通を確保し、住民の生活と経済を守るため、このほど「除雪作業打合せ」を開いて、除雪対策に万全を期すことになりました。

早くも雪が舞う季節となりましたが、北国は厳しい寒さと雪との戦いが、明年三月すぎまで続けられます。

このため、町では、雪から交通を守り、住民の生活や経済を確保して、厳しい冬を克服するため、十一月二五日に除雪関係者の打合わせ会を開催。作業の注意、雪の捨て場所、除雪路線の分担などを決めて、安全で能率的に作業を進めるよう協議しました。

町では、これまで計画的に除雪車を購入し、除雪機能のアップを図ってきましたが、こころはスノーロータリー二台とスノーローダー一台、それにスノードーザー五台、グレーダー二台、除雪ダンプ二台、排雪ダンプ一台、歩道用ミニロータリー二台の機動力と運転手（臨時職員を含む）十二人が常時待機して除

雪作業にあたることになっています。

また、除雪する町道の総延長は、昨年より増えて百七十三・一七七キロメートルにもなりますので、町内の業者から除雪車十六台を借りあげて、町民のみなさんの生活に支障のないよう出動することになっています。

みなさんにお願ひ

町では、十五センチ以上の積雪で作業を開始しますが、除雪車は午前三時半に出動し、みなさんが出勤する前に除雪を終了しなければなりません。

除雪の作業能率を高めるため町民のみなさんに、次の事項を守っていただくようお願いいたします。

▼除雪の時は、道路上に車を放置したり駐車させないでください。

い。
▼道路に、宅地内の雪を押し出したり投げないようにしてください。

▼車道から歩道にわたるスロープは、除雪の障害となりますので撤去してください。

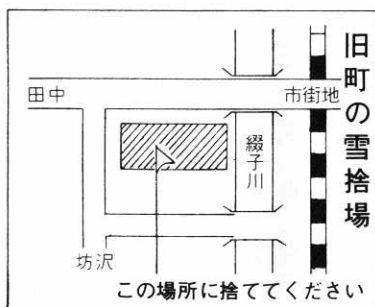
▼道路に直接雪が落ちるような屋根は危険ですから、雪止めをつけて道路に落ちないようにしてください。

▼集落（町内）ごとに雪捨て場を設けてください。

町道・坊沢大向線は

▼町道・坊沢大向線は、早朝の除雪ができませんので、通勤、通学の方は県道・鷹巣木戸石線の小ヶ田、川口経由で迂回ねがいます。

※除雪についての要望や苦情などは、町建設課監理係へ（☎② 一一一内線二七五）ご連絡ねがいます。



■16日(水) 青少年健全育成北

鹿地方集会「青少年は未成熟な面が多いことを、先ず大人が認識すべきである。現在、世界では東西の主義思想の対立、資源をはじめ発展の度合いの不満、更に宗教人種等で局地的な紛争が絶えない。

一方、国内的には、国会の政治倫理をはじめ、政治、行政への不信が募り、地域ではサラ金の悲劇、家庭では扶養の減退、特に尊族には他力本願、離婚の増加等青少年をとりまく環境の悪化が進んでいる。



11月16日～30日
出川 日誌
一

青少年に求める前に大人の問題として促え、我々自らが襟を正して、新たな認識で取り組んで欲しいとあいさつを述べた。

■17日(木) 秋田市で県体育協会の祝賀会があり出席。これは、県体協、加盟単位協会の役員等で、今秋受賞された各位を祝うもので、体育・スポーツ関係者が多数参加。

■24日(木) 北鹿地域畜産基地建設調査推進協議会の設立総会が開かれる。この協議会の範囲は二市四町で、地域の未利用地に有効適切な措置を講

じ、草資源を増やし低コストでの畜産振興をはかる為、国の調査に協力し、併せてこの事業の早期実現をはかるものである。従来の一町村一集落に留まらず、広域的な範囲が特徴、農家と農業団体の意欲が必須。

■26日(土) 先に受賞した藍綬褒章の祝賀会を開催していた。今回の受章は、出川個人と云うより町全体の功績とされており、町民のご協力に衷心より感謝申しあげたい。また、ご多忙中、先輩諸兄や各界から参加された八百人近

い方がたの祝福を受け、感激ひとしお。今後とも町民のため精魂を尽くす覚悟である。

■28日(月) 国民年金委員研修会Ⅱ年金の現状、そして将来における問題点等々を主体にした説明で理解を深め、対象者の加入促進を強く望みたい。

■29日(火) 前夜九時五〇分の寝台特急で上京。公立文教施設整備費予算獲得総決起大会や、道路整備推進大会、山村振興連盟総会などに出席。国も厳しい時局を迎えているとは云え、地方優先の政策と財源裏づけが必要である。

広報紙から 町の一年をひろう

年の瀬を迎え、行き交う人の姿に気ぜわしさを感じ、街も活気づいてきました。町内では、この一年たくさん催し物、事業などが実施されましたが、「広報たかのす」から、ことしの主なできごとを拾い、歩みをふり返ってみたいと思います。

一月(睦月)

1日 第五回「ぱりじよつこ」大会
元旦マラソンⅡ二、五キロコースに五百人余が参加
4日 交通指導隊町長査閲出初式

出稼ぎ者激励会に二百人参加
6日 実業団バレーボールリーグ鷹巣大会

22日 23日 全県中学校スキー大会(鹿角市)で、鷹巣中学校女子が初優勝
▽出稼ぎ文集「ろばた」発行

二月(如月)

1日 老人保健法が施行



3日 全町協力委員会「永年勤続者として、高橋七郎氏外五氏を表彰」
9日 三歳児「むし歯のない子」五二人を表彰
13日 第二十回町民卓球大会
18日 沢口財産区管理会解散式
20日 第二一回町民スキー大会

三月(弥生)

22日 町連合青年会「町行政を語る会」Ⅱセンター等に宿泊施設を
26日 小正月の伝統行事「葛黒火祭りかまくら」が行われた
27日 歩くスキーのつどい(大野台ハイランド)

5日 鷹巣町バスケットボール選手権大会
8日 18日 三日定例町議会Ⅱ
新年度予算一般会計四九億二千九百五十九万六千円、国保会計九億七千二百九十九万円
11日 「秋田県大豆生産優秀集団並びに豆類経営改善共励会表彰式」で、太田集団転作栽培組合(藤島徳逸組合長)が優秀賞と優良賞を受賞
15日 広報たかのす五百号発行町のイラストマップ等掲載

四月(卯月)

1日 昭和三十二年に開設した鷹巣気象通報所は、午前九時をもって無人化となる
戸籍手数料が改正
3日 春の防火運動
10日 県知事、県議会議員選挙
16日 河田杯マラソン大会
24日 町長選挙Ⅱ出川禮一氏五期目の当選

五月(皐月)

29日 全町のクリーンアップに千三百人が参加
▽行政相談委員に石岡喜正氏、人権擁護委員に高坂八衛氏が委嘱される
▽ことしの地籍調査は七日市地区の千六百八十五戸で実施される。



4日 公立米内沢病院で品類沢、竜森地区に「へき地診療バス」を運行
7日 第一回鷹巣町植樹祭
14日 鷹巣建設技能共同高等職業訓練校入学式
18日 町内小学校交歓陸上競技大会
26日 正午頃マグニチュード七・七(震度五強震)の日本海中部地震が発生。震源地は能代沖百キロ、深さ十キロと陸地に

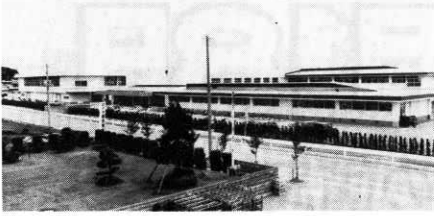
六月(水無月)

近かったことから、町でも土蔵や石塀が倒壊、水道管破損、ガケ崩れ、道路や地面に亀裂が生ずるなど、約二億円余りの被害を受けた。
▽ツツガムシ病が異常発生
▽新星子ども会(あけぼの町)が県児童健全育成表彰
▽町社会福祉協議会の収支決算で、善意が三八〇万円余り
▽広報たかのす保存版が完成(昭和三〇年一五一年まで四冊セット)

13日 22日 六月定例町議会Ⅱ
地震災害の復旧費など補正
17日 町内小学校野球大会Ⅱ東小学校が初優勝
24日 27日 全日本九人制バレーボール実業団女子選手権大会Ⅱ琉球銀行など五〇チームが参加。群馬銀行が二連勝を飾る。
28日 町内小学校バレーボール大会Ⅱ綴子小学校が三連勝

七月(文月)

2日 3日 町で初の県体山岳競技Ⅱ竜ヶ森を会場に選手、役員三百人が参加。鷹巣農林高校が二連勝
3日 第三回全日本バレーボール小学校大会県予選Ⅱ綴子小



八月(葉月)

- 学校が初優勝
4日 県理容競技大会が鷹巣体育館で行われた
8日 10日 NHK東北高校杯バレーボール大会 当町出身 畠山選手(大町)の活躍で弘前工業高が優勝
10日 全日本軟式野球大会奥羽予選を鷹巣球場で開催
16日 秋田フイナンド協会総会 〓ヘルシンキ大学農学部部長・メーラ博士らが来町
17日 全県実業団剣道大会 〓広域消防署、商工会チームが準優勝
30日 臨時町議会 〓北健康増進センター新築など一般会計は三、四八八万九千円を補正
31日 全日本大学選抜相撲秋田大会を開催

九月(長月)

- 1日 摩当簡易水道が給水開始 〓総事業費一億二、三二八万九千円
12日 東北中学校野球大会(秋田市) 〓鷹巣中学校が三沢二中(青森)を破って初優勝
15日 成人式で三二二人が門出を祝う。中国の農業研修生も参加。
20日 鷹巣小学校竣工落成式
21日 町民体育祭 〓鷹巣地区が昨年に続いて二連勝
22日 鷹巣小学校旧校舎に別れを告げ新校舎で勉強
31日 第一回ゲートボール大会を開催
- 1日 「生活汚水」と「近隣騒音」を規制町独自で指導要領を施行
3日 4日 第三回発明工夫展
14日 22日 九月定例町議会 〓鷹巣体育館サブ体育館、町史編さん費等補正
23日 鷹巣愛謡会(河田カツ子、金沢恵美子) 結成記念チャリティーショー
28日 国道一〇三号線大館バイパス開通
30日 峰越連絡林道奥見内線が完成 〓門ヶ沢と比内町を結ぶ延長六、六六七メートル、総工費四億〇二七四万四千元
河田ユキさん、全国保健衛生大会で厚生大臣表彰

十月(神無月)

- 〓綴子小学校・石井悟くん小学生相撲東北大会で優勝
1日 鷹巣農林高校対鷹巣高校野球定期戦
7日 臨時議会 〓鷹巣体育館サブ体育館工事請負契約締結等を可決
9日 全県駅伝大会・中学の部で鷹巣中学校二度目の優勝
10日 町民駅伝大会 〓青年の部で綴子Aが十二連勝
17日 スペシャルオリンピック(大阪市)に吉野学園から五選手が出場、メタル八個受賞
24日 北秋田郡鹿角郡市大館市遺族地方大会
25日 黒森橋完成 〓工事費総額一億二、二一〇万円
- 3日 6日 文化祭 〓演示は中央公民館で、展示は分館(旧鷹小)で行われた
6日 県中学校新人選抜剣道大会 〓鷹巣中学校女子優勝
11日 東北男女総合バスケットボール選手権秋田県予選大会を開催
13日 第一回女子駅伝兼阿仁鷹巣間駅伝競走大会 〓鷹巣陸協鷹巣中学校が優勝
14日 出川禮一町長は地方自治

十一月(霜月)

- 1日 当初の盲人信号機のテストカット
3日 民生児童委員六四人を委嘱
5日 14日 十二月定例町議会 〓鷹巣中学校第二体育館(二二カ年事業の本年度分二、四〇〇万円のほか、選挙費などで八、九二七万四千円を補正)
11日 町卓球協会二〇周年記念町民パドミントン大会
18日 衆議院議員総選挙
▽スキー場開き

十二月(師走)



- 二三年の功績が認められ藍綬褒章を受章
27日 第二回若鷹祭 〓財団法人日本民謡協会主催の「民謡民舞全国大会」で河田カツ子さんが内閣総理大臣賞を獲得し日本一に

出稼ぎ者激励集会のご案内

町では、出稼ぎ者の正月帰郷者を対象に、下記のとおり激励集会を開催しますので、ぜひご出席くださるようご案内いたします。

日時 1月3日午後1時から
場所 中央公民館ホール

実業団バレーボールリーグ

- ▼1月15日(日) 10時開館 12時15分開始式
▼鷹巣体育館
▼対戦チーム(女子) 日立茂原対関西日本電気(男子) 日本電気対日本電気ホームエレクトロニクス
▼入場料 一般券 前売 1,300円 当日 1,500円
学生券 前売 800円 当日 1,000円

衆議院議員総選挙の

投票日は12月18日

…最高裁判所裁判官の国民審査も…

衆議院の解散にともなう総選挙は、十二月三日に公示され、公職選挙法改正で選挙期間が五日間短縮となったので十二月十八日に投票が行われます。今回の衆議院議員選挙は、内政・外交に多くの政治課題をかえ、日本のあり方について国民がどのような選択をするかという点で、たいへん重要な意義があります。私たち一人ひとりの一票で国の政治の方向がきまるので、必ず投票しましょう。

当町で投票できる人

▼昭和五十八年九月二日以前から引き続き当町に居住している人で、住民基本台帳に記録されている人。

▼昭和三十八年十二月十九日以前に生まれた人。なお、当町に九月三日以降に転入された人は、前の住所で登録地となっており、投票日には前の住所で投票するか、不在投票をしてください。

午前七時から投票開始 閉鎖は一部で繰りあげ

十八日の投票日は、午前七時から午後六時まで、町内二十五カ所で投票が行われますが、つぎの投票所で閉鎖時間が、繰りあげられますので注意してください。

▼午後五時まで（一時間繰りあげ）
■明利又投票区、竜森投票区、坊山投票区、葛黒投票区、黒沢投票区、緑ヶ丘投票区、田子ヶ沢投票区、岩谷投票区。

衆議院は白茶色 国民審査は白色

十八日の衆議院議員総選挙と同時に、最高裁判所裁判官の国民審査も行われます。

投票用紙は、衆議院議員総選挙が白茶色の紙に黒刷り。国民審査については白色の紙に赤刷りとなっています。

投票日に支障ある 方は不在者投票を

投票日の十八日に仕事や用事のため、投票にいけない人は不在者投票を行うことができます。

不在者投票は、投票日前日の十七日までで、毎日午前八時三十分から午後五時までとなっています。くわしくは町選挙管理



心の中までのぞいて

委員会にお問い合わせください。

郵便による不在者投票

身体に重度の障害（両下肢一級、二級、心臓障害一級・三級等）のある人は、郵便による不在者投票ができますので、投票日の四日前（十五日）までに、郵便投票証明書を提示して請求ねがいます。くわしくは町選挙管理委員会に問い合わせください。

入場券は届きましたか

町選挙管理委員会は、今回の

公職選挙法の一部が改正されました

今回の改正は、金のかからない選挙、また効率的に選挙運動を展開するために、実情を考慮して選挙制度を改善したものです。

主な改正点は次のとおり

- 選挙運動期間：公示の日は衆議院議員選挙期日の少なくとも十五日前に（これまでは二十日前）
- 参議院議員選挙期日の少なくとも十八日前に（これまでは二十三日）
- ▼知事選挙期日の少なくとも二〇日前に（これまでは二五日）
- ▼県議会議員選挙期日の少なくとも九日前に（これまでは十二日前）
- ▼町長及び町議会議員選挙期日の少なくとも五日前に（これまでは七日前）
- 各選挙の立候補届出期間を公示または告示の日一日間とする（これまでは二日間）
- 連呼行為、街頭演説及び街頭政談演説を行うことができる時間は午前八時（これまでは七時）から午後八時まで。
- 立会演説会の制度は廃止する（これまでは実施していた）
- NHK、民放のテレビまたはラジオによる政見放送は、これまでより一回増加する。

選挙の入場券を、各世帯ごとに封筒で三日前後に郵送しました。もし配布もれがありましたら、選挙管理委員会にお問い合わせください。

選挙の問い合わせは

衆議院議員総選挙事務執行のため、選挙事務局を役場二階小会議室に設けております。不在者投票や選挙用務の方は、同事務局へおいでください。

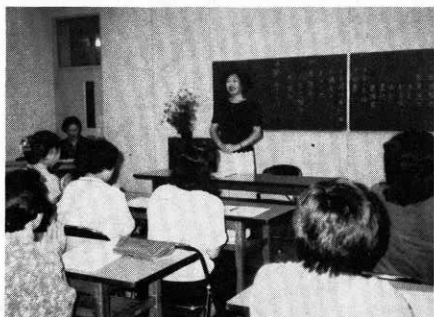
なお、事務局に臨時直通電話二局九五〇〇番を設置しました。

二七番目の婦人学級

「コスモス会」が誕生

町内二七番目の婦人学級がこの程誕生しました。旭町を中心とした婦人の学習集団で、既存の婦人学級の二倍近い七〇名というマンモス学級です。

初代会長の石田さんは「会員が多いので、まとめるのが大変だと思うが、みんなが意見交換できる肩のこらない学級にしたい。まず仲間づくりです」と話



しています。

月百円の会費で、月一回の集

工業統計調査
にご協力を

製造業を営むみなさん、今年も恒例の「工業統計調査」が行なわれます。

十二月三十一日現在での調査のため、年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力くださるようお願いいたします。みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われることは絶対にありませんので、安心してありのままをお書きください。

民話のテレホン
サービスを利用

電報電話局では、十二月から

会では、お茶の礼法、フォークダンス、婦人と健康、指圧などを予定しています。今後の活躍が期待されます。役員は会長、石田洋子、副会長、今野清子、会計、成田和子、一ノ関充子、書記、谷藤広子、増田利子

無料でテレホンサービスをはじめました。

●二〇〇〇番をダイヤルすると、テレビアニメーション「サザエさん」のマスオ役、増岡弘と「ドクタースランプ・アラレちゃん」のアラレ役、小川菜美のコンビで、楽しい民話と上手な電話の使い方、マナー、エチケットなどについて、わかりやすく語りかけています。二週間ごとに内容は変わりますので、ご利用ください。

▽十二月十二日から「民話「雀孝行」、電話の効果的な使い方」
▽十二月二十六日から「民話「吉四郎さんサザエを買う」、料金の割引」
▽一月九日から「民話「昔話の好きな殿様」、お話しは手みじかに

第三回 元旦マラソン（一月一日）

▼集合場所 役場前

▼日程

▼選手受付 午前九時半

▼開会式 十時

▼競技開始 十時半

▼申込み 十二月二十四日まで役場・佐藤要あて

▼参加者全員に完走証を授与します

※旧町内を走りますので、ご声援ねがいます

郷土史年表

86

西暦	昭和	和	時	代	事	項
一九六二	昭和三七				一月十三日	坊沢小学校体育館竣工
					一月三十日	竜森中学校特別教室落成
					二月三日	新自動車ポンプ入魂式
					三月一日	テレビ受信者一〇〇〇万突破
					三月五日	全町に九八名の保健指導員を委嘱配置する
					四月十一日	綴子に県立職業訓練所設置
					四月二十四日	鷹巣町青少年問題協議会設立総会、会長に町長成田喜八氏決まる
					五月八日	緑ヶ丘小学校に坊沢財産区がピアノを寄贈す
					五月二十四日	県教委主催の複式研究会が糠沢分校で開催される
					七月一日	第六回参議院議員通常選挙 鈴木寿当選
					七月十一日	全国学力テスト（国語算数）小学校五、六年に実施
					九月八日	緑ヶ丘小学校八十周年記念式典挙行
					九月十五日	全町で八十歳以上の入五六名
					十月二日	北秋中央病院落成式
					十月八日	鷹巣中学校「清風寮」を女子寮として開寮する。岩谷、大沢緑ヶ丘地区など遠距離通学約二〇名泊まる
					十一月五日	優良子供会として、「つくし」「こぼし」「鷹舟」の三子供会が県表彰を受ける

町づくりの 課題を論議

鷹巣町公民館研究会



「明るく住みよい地域づくり町づくりのために、公民館の学習をどう役立てるか」をテーマに、十二月四日（日）中央公民館において開催された第一回鷹巣町公民館活動研究会大会はあいにくの悪天候であったが、社会教育団体の関係者、約百二十人が集い、五つの分科会で熱心な話し合いをしました。

ふるさとを愛する教育

第一分科会、青少年健全育成では、栄地区少年教室（チビッコ公民館）がとりくんでいる郷土学習や勤労体験学習について東小学校藤島慎三教諭より「学校と地域の人々が一体になってふるさとを愛する子どもを育て

ていること」また太田若妻学校の藤島ハル氏からは「家庭教育学習の現状」が発表されました。

ムリ、ムダの少ない消費生活

第二分科会、産業経済に役立つ学習では、坊沢公民館長成田清治郎氏より、西部農協と協力してやっている地域農業技術講習並びにミニ産業文化祭のこと、綴子公民館、石川マサ子氏は、グループでとりくんでいる家計簿のつけ方、七日市上舟木自治会長、相馬瑞郎氏は部落ぐるみで実施した結婚披露宴の合理化について発表があり、無理や無駄の少ない消費生活のあり方について話し合いました。

自治意識の向上を

第三分科会、自治能力の向上では、脇神部落の壮年会の歴史と現在の活動（中島光雄氏）、沢口地区自治会長が岩手県矢巾町煙山部落と研修交流していること（中林藤吉郎氏）より発表、行政依存型から自治意識向上へ変わるべきことが強調されました。

長生き法を学ぶ

第四分科会、高齢化社会への対応では、鷹巣地区老人クラブ（長生会）の活動（長谷川慎一郎氏）、七座（丹信之助氏）より「私の長生き法」の発表がありました。

地域づくり

ボランティア活動

第五分科 地域づくりと世代間交流では、婦人会復興のためにとりくんでいる前山自治会の体験談（野呂満美氏）、会費制披露宴や独り暮らし老人の家の雪降しなどのボランティア活動をしている綴子地区連合青年会（石川拓己）の体験談がありました。

講演「地域づくりのために公民館活動をどう役立てるか」県生涯教育センター専門員 松谷弘市氏は、多くの問題をかかえているスエーデンの例をあげ、生涯教育条件の整備をいそがなければと話されました。

ふるさと人物伝 59

戸沢 佐明

（二八九二—一九七〇）



昭和の初めごろ秋田中学（現秋田高校）並びに秋田女子師範の先生をしてもらった当町出身の戸沢佐明氏は、地理歴史を専攻され、大変な勉強家であった。特に「集落の地理、歴史」への研究が深かったこと、後日高等学校長として学校経営をされたとき、その郷土条件を重視し、特色ある経営をされたと聞いている。佐明は明治二十五年、七座村前山字栗木岱、戸沢永吉の二男として生まれる。高等学校を卒業して農業を手伝い綴子小学校の代用教員を勤めていたが、秋田師範学校に入學。明治四十五年卒業、釈迦

内小学校勤務となる。彼は進学の希望をお捨てず東京高等師範学校に入學した。

卒業後は秋田中学や、秋田県女子師範学校に勤務し、地理歴史の教諭として活躍する。昭和十四年、文部省からの指定で「総合郷土研究 秋田県」一二〇〇頁が刊行されているが、全県下から集められた膨大な調査資料の解釈や編集に、彼が大きな役割を果たしていたものと思われる。

秋田市内の彼の家は、部屋いっぱい本が並び、本の中に埋もれているという日常であった。女子師範学校付属小学校主事（今の校長）の頃は、大東亜戦争が苛烈を極め、荒々しい世相であったが、彼の周辺は常に温かく、和やかな気風がただよっていた。

やがて戦争も終わり、角館高等学校校長、土崎高等女学校校長を歴任して定年退職。昭和四十五年、八十歳で死去す。

甥の戸沢英一は、「叔父は実家に帰ると農業の手伝いをよくしてくれたし、また箸の持ち方一つでもきびしく注意する」という、修身そのものの人であった。」と、生前の印象を語ってくれた。（資料 七座郷土史、知人二階善三、甥戸沢英一 当時の女師生中島雍氏談）文責 長崎久



盲人用信号機ができました

目の不自由な方々を交通事故から守ろうと、県交安委員会で米代町通り・衛生堂前の交差点に盲人用信号機を設置。12月1日に杉山警察署長や畠山助役、盲人会員ら多数が集まってテープカットを行いました。横断歩道には点字ブロックを布設するとともに、信号機からは“通りゃんせ”と“故郷の空”のメロデーが流れており、目の不自由な人々から喜ばれていました。

町で生花教室を開設してある流派が連合して「第1回いけばな展」が、11月26・27の両日中央公民館で開かれました。これまで文化祭などで腕前が披露されてきましたが、合同で出品したのは、松生派、池の坊、小原流、嵯峨御法、草月流、龍生派の六派で百人余り。会場には美を競う生花と花の香りが漂うなか、女性の姿が多く目につきました。

流派が合同で生花展を開催



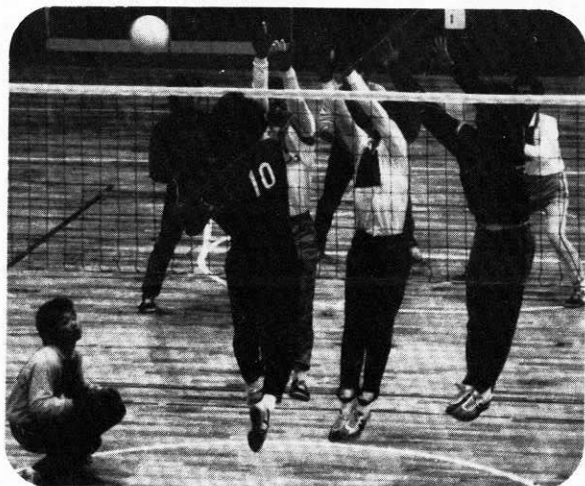
ディスコで交流の若鷹祭

町内の高校生と専門学校の生徒の交流を図ろうと、町青少年育成町民会議では11月27日中央公民館分館（旧鷹小）で、第2回若鷹祭を開催いたしました。開会式のあと鷹巣高校の演奏。続いてディスコやカラオケ、フォークコンサート、フォークダンスなど高校生の自主的な企画でエネルギーを発散。空腹はヤキトリの模擬店や食堂で満たし、楽しい一日を過ごしていました。

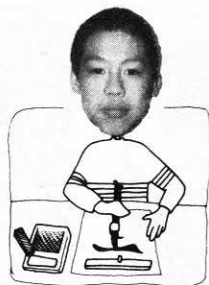
町民バレーボール大会は11月21日から27日まで鷹巣体育館で開催されました。大会には男子1部11チーム

2部12チーム。女子1部3チーム、2部6チームの計32チームが参加して盛りあがりを見せていました。試合は日曜日を除いて夜6時から試合が開始され手に汗にぎる熱戦の結果、男子1部は七日市青年会、2部はガクヤ、女子1部はレディース、2部は鷹巣病院が優勝。

町民バレー32チームが参加

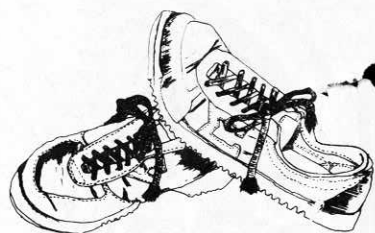


の広場



西小学校六年
成田

純くん



大学進学に励む次男に、今一度志望大学の入試突破が課題とされ、息子と共に親も落ちつきを失いがちであります。
勉強法七つの原則▽授業は真剣勝負▽教科書は最高の参考書▽先生を活用しよう▽嫌いな科目を克服せよ▽答案を見直そう▽計画性のある勉強



材木町
佐々木ノブ(47)

自分の基礎がためを

今回のテーマ『進学について』

対談 親の意見・子供の意見



オオウバユリ

ユリ科

畑の土手や林地に見かける多年生草本、枯れた花茎、花は淡緑色で夏、新しい株は三年位たたないと花茎をださない。

根茎は白色、むしやきしたり、酢づけして食べられる。

(南小学校 畠山 益穂先生)

が大切 ▽新聞や本を読もう
六十年には入試方法が変わるため、今年度の受験生は難関とされていることを頭に入れ、多様化する社会を生きのびる基本として、自分の基礎がためを身につけてほしい。
高度成長時代は終わり、低成長時代に入り実力重視の方向へと厳しさが増している。国際化社会を迎える二一世紀に活躍の場を得る若者達、常に時代に対応できるゆとりある判断のもとに、また学生生活も本当のやる気につながる価値観を見出し、光ファイバーのように、また

ふるさとのみなさんへ

緑り豊かな街に期待します

千葉県浦安市・河田友好(51)



鷹巣町の皆様こんにちは、私は大町の河田家具店の三男(現店主は四男)で、大活躍年の二六年三月農林高卒業後就職のため離町し、現在十條製紙(株)本社で物流業務を担当しています。

町を出てから速いもので三年余り。その間ソロモン群島やインドネシア等の南洋勤務、東北、関西、関東での生活を通して、生まれ育った鷹巣とは違う諸々の体験をしま

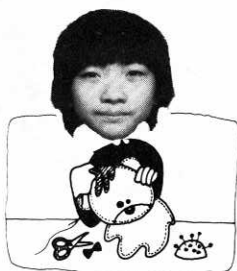
したが、不思議なことに何処に住んでいる時でも、近い将来帰る積もりの鷹巣との比較をしているのです。

例えば、緑り豊かな地に住んだ際には、鷹巣(旧町)も大火前は外周が太木で覆われ、町内にも林や畑が散在する本所に緑多い静かな街であったが、今は緑少ないところと化し淋しい限りです。でも行政が音頭をとって行動すれば早い時期に緑溢れる美しい街に変わるだろう、とか、また、鷹巣では余りみかけない電器その他の中小企業を積極的に誘致し、商工業がバランス良く活気づいた町を視た時には、農林業、製材業に昔日の状況を期待出来ない今日、今のうちに手をうたないと将来の鷹巣町はどうなるだろうと考えたりしています。

日毎に寒くなりますが皆様お元気でお過ごしください。

みんな

西小学校六年
佐藤圭子さん



エネルギーの谷間をどう抜けるなど、忘れ得ぬ体験を語り若い世代の青春を謳歌してほしい。

人生の教師は、父親であるとおぶやきながら、ふれあいの精神を大切に、息子の進学を見つめている。

精いっぱい努力を



鷹巣高3年 大 佐藤

紅葉とともに受験生の目の色が変わってくるこの時期、私もその一人であります。私の場合つい先日まで部活動をしていたせいもあって、他の人とはその度合いがかなり違くと、自信をもって言うことができます。



大晦日

掃除もすみ
畳も新しく、

障子は真白、やることはすべて終わってゆったりとした気分で大晦日を迎えたいものです。

この一年世の中にはいろいろなことがありましたが、わが家の十大ニュースは何か、反省すべきことは何であったか、家族で話し合うのも意義あることで

私の通っている学校では半数の人が進学を希望していますが自分のおかれている立場を自覚している深さがまちまちで、紧迫感がどうもいま少し漂ってきません。最近各業者の模擬試験がひんばんに行われて、その結果によって自分の学力偏差値が志望校の水準まで達しているか、いないかで一喜一憂している人がふえています。

この傾向はわが校においてはよいことだと思います。

しかしこの偏差値によって希望を輪切りにする現在の偏差値教育には賛成しかねる所があるのは事実ですが、どうしようもない現状です。しかし来年からは新教育課程の受験になるので私たちにとってはあとがないわけです。だから残り僅かな時間を有効に使い、栄冠をかちとるため精いっぱい努力しなければならぬと思うこの頃です。

す。

年越しそばを食べるまでの間一年間にとり溜めた写真をアルバムに整理するのも一興です。写真を貼りながら一年間の思い出を語り合い、来年に向けての希望、抱負を語り合いたいです。テレビの歌謡番組も終わります。除夜の鐘の音が近くの寺から、テレビから聞こえてきます。来年はどんな年になるか深夜の空に耳を傾け、新しい年の息吹を聞き取りましょう。

大火前の昭和24年1月に、改築して自治体警察署となったものですが、建物の前身は病院や公会堂として利用されたようです。場所は大火前なので定かではありませんが、現在の農協会館付近と思われます。

(写真提供は、東横町・桜庭喜介氏)



たかのすの昔

おしらせ

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◇ ◇
離乳食実習指導は、十五日〓五八年五月生まれとなっています。

受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◇ ◇
乳児健康診査は、十五日〓五八年八月生まれとなっています。

受付時間は、午後一時から一時半まで。
※場所、いずれも鷹巣保健所です。

十二月の健康相談

十二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、二七日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

◇ ◇

妊婦健康相談は、十九日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩及び産後の注意について。

時間は、午前十時から十一時まで。

に入学される方（高校、大学、短大、専修学校等）に、入学金、授業料など進学に際し必要な資金を貸し付けいたします。

▽融資額〓五十万円以内

▽利率〓年八・一%（変わることはありません）

▽返済期間〓進学する学校の修業年限以内（交通遺児家庭および母子家庭の方は一年の延長が可能）なお、ご希望により、一年以内の据え置きもできます。

お取扱いは十一月から来年の四月まで。

くわしくは、国民金融公庫大館支店（大館四二一三四〇七）へご相談ください。

三種混合ワクチンの予防接種

予 防 接 種

生後二四ヵ月から四八ヵ月（五四年十二月二日から五六年十二月二日）までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種は、鷹巣地区以外の方は二、三日、鷹巣地区の方は二、三日に行います。

受付時間は、午後一時から二時半まで、中央公民館ホールとなっています。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

国 民 金 融 公 庫 で は、 来 年 四 月

国の進学ローン

国民金融公庫では、来年四月

年始は一月四日から収集します。

停電のお知らせ

十二月の作業停電は、次の地区です。

▽22日〓綴子上町、松原地区（午前九時〓午後一時）

▽23日〓蟹沢地区（午前九時〓正午）

▽27日〓葛黒地区（午前九時〓午後一時）

善 意

▽鷹巣社交ダンス教室（会長・岩本昭義）から、チャリティダンスパーティーの収益金として一万一千八百円

▽鷹巣電報電話局からふるさと電話室募金として三千八十四円

▽大町〓岩川修也さんから三千円

社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽向黒沢〓照内秀雄さんから亡父忠吉さんの香典返し

▽小森〓佐藤昌吾さんから亡父

乙松さんの香典返し
▽材木町〓木村義勝さんから亡母トクさんの香典返し
▽坊山〓佐藤健一さんから亡父和一さんの香典返し



11月16日〓11月30日

誕生おめでとうございます

野呂知英子（俊悦）長女大町

藤島 美久（久義）長女舟見町

若松 優（好供）長女南鷹巣

佐藤真史恵（弘信）長女脇神

中嶋 健志（二則）長男舟場

五十嵐 翔（隆）長男摩当

二人の前途を祝福いたします

沖田 貞敏 森吉町

小笠原 雅子 南鷹巣

小 熊 成人 五城目町

長 崎 久美子 緑ヶ丘

武 藤 博行 相善町

藤 島 多代子 大堤

岩 谷 敦子 掛泥

小笠原 定光 前山

藤 島 麗子 下町

おくりやみ申し上げます

長崎 久一（75歳）緑ヶ丘

大川 ソヨ（58歳）黒沢

木村 トク（70歳）材木町

山田 富雄（50歳）明利又

藤内 サン（73歳）今泉

長岐 キク（80歳）七日市

米沢 信喜（93歳）糠沢